



# Southern Cross 2016 No.5



The Japanese School in Perth  
パース日本人学校



Web-site [www.japaneseschool.wa.edu.au](http://www.japaneseschool.wa.edu.au)

e-mail: [info@japaneseschool.wa.edu.au](mailto:info@japaneseschool.wa.edu.au)

2016年8月5日発行

## 基礎基本

校長 春日二郎

枯れた林も少し赤く霞むほどに木の芽がふくらんできました。春も間近となりました。

子どもたちは、運動会で初披露する踊りの練習に励んでいます。縦割りの班で中学生が中心となって細かい振り付けを確認し、全体での練習につなぎます。全員の声にも迫力が出てきました。

新年度に入り4ヶ月。授業風景、掲示物、そして縦割り班での仕事ぶり等で、子どもたちの成長が実感できます。小学部の1年生は、今学期から、係活動や日直などの当番活動に頑張っています。

朝の会をのぞいてみます。聞こえてきました。「良い姿勢になりましょう」「はい!!」

「これから、朝の会を始めます。」と係さん。「始めます!!」全員の声が響きます。

「朝のあいさつ、おはようございます。」と係さん。「おはようございます。」と全員。

「今日は、八月一日（はちがつついたち）です。」ふつか、みっか、よっか、いつか、……

難しい言い方も4月から練習をしてきました。係さんに続いてみんなで声を揃えます。

「朝の健康観察、先生お願いします。」係さんに指名された先生が一人ずつの名前を呼ぶと

「はい！元気です！」 「はい!!すごいすごい元気です!!」 と元気が増幅していきます。

「はい!!!もりもりもりもり、すごいすごい元気です!!!」相乗効果で、元気が爆発です。

最後にみんなで声を揃えて「先生!!」 そう、先生にも元気が聞いてくれます。

先生が「もりもり元気です!!!」と言うと、みんなで答えます。「以上で一す。」

「今日の時間割です。」係さんが、時間割をじっと見た後、みんなに向かって頭の中に入れた時間割を大きな声で伝えます。

「今日も頑張って、お勉強しましょう。先生からのお話です。」はい、係さんよくできました。

みんなの前ではきはきと声を出します。発表する力の基礎基本です。



◆◆◆中田崇志選手が、ガイドランナーとしてパラリンピックへの出場を決めました。

1年ほど前、マラソン選手の川内優輝選手と中田崇志選手を日本人学校へお招きすることができました。それぞれ、オリンピック、パラリンピックへの熱い思いとともに、「走ること」について、技術的なこと、精神的なことを話していただきました。

川内選手はオリンピックの夢はかないませんでした。先日オーストラリアのゴールドコーストで行われたマラソンでは2時間9分1秒の好タイムで2位となるなど、市民ランナーとして国内外での活躍を続けています。

中田選手は、目の不自由な選手を励ましながら伴走するガイドランナーとして、パラリンピックへの出場を決めました。パラリンピックはオリンピック終了後の9月7日～18日に開催され、マラソンは18日、最終日の種目です。きっと、沿道の応援の様子を伝えながら、選手を勇気づけて走ることと思います。

2人の選手に、これからも大きな声援を送り続けましょう。

◆◆◆ 昨年の PTA 研修会でお話いただいた女子栄養大学の平田裕美先生から、保護者の皆様へのお便りをいただきました。平田先生は、海外での生活を経験して帰国した、多くの子どもたちに接し、その不安な心に寄り添い続けておられます。

オリンピックに向けて - 思う存分、走っておいで -

昨年度、パース日本人学校に伺ってから、1年近くが経とうとしています。日本は、まもなく梅雨明けですが、南半球にあるパースは、とても過ごしやすい季節を迎えられるのではないのでしょうか。

さて、私たち大学教員は、教科専門性から所属先以外に、色々な大学に非常勤として教えに行きます。6月下旬、非常勤先の某大学『心理学』講義終了時、男子学生との会話です。

男子学生「先生、7月からリオに行きます。欠席課題と試験について指示をください」

私「リオ？まだオリンピックも始まっていないのに、今から何しに行くの？」

男子学生「そのオリンピックの試合に出るので、向こうで合宿に参加します。」

沈黙の後、やっと、その男子学生が今回のリオ・オリンピックに出場する選手であるということに気がつきました。理工学部所属の彼は実習などもあり、日本での調整を心がけていたようでした。そこで、私は何の準備もなかったため、どのような評価の仕方がいいのか、自分で決めて返事を、と問いかけました。すると男子学生より「できれば、帰ってきたら、みんなと同じ試験を受けさせてもらえませんか。」レポートとかで考慮して欲しいとかないの、オリンピックまで行くのだからと私が言っても、「オリンピックに行くのは自分の夢だったから、でも、それと単位取得とは別物です」という返答でした。目の前にいるその男子学生が、どうやって、ここまで自分の可能性を最大限に伸ばしてきたのかが理解できる一瞬でした。「では、帰ってくるまで、成績保留にしておきます。思う存分、走っておいで。」「ハイ」

一本当に引き締まった、たくましい笑顔でした。

まもなく、オリンピック開催地に、世界中から、選ばれた選手たちが集結します。

どの国においても、選手を送り出す側の気持ちは、ひとつではないのでしょうか。



◆◆◆ AED の設置と救命救急研修



昨年度の PTA 補助として、AED を購入していただきました。ありがとうございました。

職員室前に設置するとともに、職員研修では、救命救急の研修を行いました。

日本国内でも、救命方法については常に見直しが行われていますが、オーストラ

リアでは、まず口内の嘔吐物を取り除くこと、人工呼吸無しで胸骨圧迫（心臓マッサージ）を続けることなど、日本とは異なる方法が求められます。

学校内での安全・安心。学校の大切な基礎基本です。



←校舎に架かる虹

プレイグラウンドに訪れた  
ワライカワセミー

自然豊かなパースの地で心豊かな子どもたちが育まれていきます。





# クラブ活動を紹介します！

今年度は、2つのクラブが活動しています。メンバーは、小学部3年生から6年生までの子ども達です。今回は、各クラブの活動の様子をご紹介します。

## 【スポーツクラブ】



今年は、それぞれの学年でやってみたいことを中心に活動しています。その中でも、今年度のスポーツクラブで人気があるのは、「しっぽ取り」。個人戦で対決したり、しっぽの色ごとにチーム戦を行ったりします。チームと思ったら、突然裏切られる…なんてことも。たくさん走って、たくさん汗かいて、青空の下元気に活動しています。

## 【科学工作クラブ】



科学工作クラブは3年生5名、4年生3名、計8名で行っています。初めにどんな実験や工作をしたいかを話し合っ決めて、協力しあって活動しています。

1学期にはプラ板作り、2学期はスライムを作りました。次は万華鏡作り、そしてべっこうあめと熱気球を予定しています。楽しく、ケガなく、普段の授業ではできない活動ができればと思います。

## ご協力ありがとうございました。

7月30日（土）、カラカッタ墓地清掃を行いました。今回も、沢山のJSPの保護者の皆さんにご参加いただきました。子ども達も、落ち葉を掃いたりゴミを拾ったりと、頑張って手伝ってくれました。お忙しい中誠にありがとうございました。

## JSPよもやま話

8月に入り、パースでは冬本番を迎えています。日本ではようやく梅雨が明け、これからが夏本番といったところでしょうか。8月の行事といえばお盆です。沖縄県ではお盆は旧暦のお盆が一般的です。親戚が集まり、その地域の青年達がエイサーを踊りながら練り歩き、祖先を供養します。また、昔から人が集まる所には三線が登場します。親戚に一人くらいは三線上手な人がいて、宴もたけなわになると三線を弾いて盛り上がるというくらい、県民に身近な楽器です。

さて、その三線ですが、今から700年くらい前に中国の三絃という楽器が琉球王国にわたり、大阪の堺あたりから日本本土に広がり三味線になったといわれています。皮はニシキヘビで出来ていて、保管状態が悪いと破れてしまいます。その材質も亜熱帯気候の沖縄にあって居るのでしょうか。

そんな三線も一時消滅の危機がありました。先の大戦で島中が焼け野原になってしまったときです。戦後物資も乏しく、人々の心もすさんでいました。そんな中、アメリカ軍から支給される食料の缶詰を使って材料にし、カンカラ三線という三線を作って歌い、心をなぐさめたそうです。故郷から遠く離れると、日本や地元を強く意識するようになります。楽器は全くダメな私ですが、今回の全校集会の「先生の話」をするにあたり、三線に挑戦してみました。（新城）